

平成26年度学校評価報告書

学校名 (玖島小学校)

評価計画				自己評価					学校関係者評価	改善方策	
中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目・指標	目標	中間8月	最終2月	達成	評価	結果と課題の分析		コメント
<u>確かな学力</u> ・基礎・基本の定着と「ふるさと玖島」の教育の推進	○思考力の基礎を育てる。※1	思考力の育成のための発問や授業展開を意識した研究授業を1人年間1回実施する。	4年生：廿日市市学力定着状況調査 目標値以上	90%	—	64%	64%	C	両教科目標値に達した児童は64%	・焦点を絞って取り組んでいるのは、効果的である。 2つの学力調査の結果を見ると、児童に力が付いている。友和小学校との統合に向けて、児童に自信を与えるものである。 ・学力調査の前の勉強に仕方について指導ができており、効果が出ている。	・改善計画に沿った検証が有効だった。 ・佐伯中学校区での取組も生かす。 ・今後も研修を生かし共通認識を持って授業改善に取り組んでいく。
			5年生：広島県「基礎・基本」定着状況調査 通過率 60%以上【市共通項目】	90%	100%	—	100%	A	平均通過率 国語 90.9% 算数 97.1% 理科 92.4%		
			6年生：全国学力・学習状況調査	県平均を上回る	100%	—	100%	A	平均通過率 国語 A91% B77% 算数 A87% B69%		
	○ふるさとの伝統や文化を大切に育てる。	総合的な学習の時間で、「ふるさと玖島」の学習をする。	アンケートにおいて「ふるさと玖島が好き」の回答が100%になる。	100%	92%	100%	100%	A	1学期末に「あまり当てはまらない」と答えた児童も「好き」と回答		
<u>豊かな心</u> ・いのちの大切さとふるさと玖島への愛着と誇りを育てる教育の推進	○いじめを許さない学校風土を作る。	道徳教育の重点目標を「生命尊重」とし、共感的人間関係築く。	いじめアンケートにおいて、「いじめはない」の回答が全て100%になる。	100%	100%	100%	100%	A	児童は楽しく登校し、保護者も学校に期待していることが伺える。	いじめについては、隠さずオープンにしてほしい。安心して相談できる手立てを工夫してほしい。	今後も未然防止として、規律を確立し、わかる授業づくり、共感的な人間関係づくりに努めていく。
	○ふるさとの伝統や文化を大切に育てる。	玖島地域、玖島小学校を支えてくださる保護者、地域の皆さんへの感謝の気持ちをもち、伝える。	学習発表会等のアンケートで地域住民の肯定的評価100%以上	100%	—	100%	100%	A	行事等を通して地域との関わりを肯定的にとらえている。	アンケートを読むと、地域住民の満足度が大変高いことが分かった。	今後も学習の中で、感謝の気持ちを伝える場を設定する。
<u>健やかな体</u> ・体力・運動能力の向上と食育の推進	○課題の「走」の能力を向上させる。	年間通して、「走」の運動を取り入れる。	50m走の県平均を上回る70%以上	100%	58%	67%	67%	C	8月から10月にかけて記録が伸びた児童が1名いた。	「走」の運動に焦点を絞って取り組んでいる点が評価できる。教職員がアイデアを出し、工夫した取組をしているのが分かる。	体育の学習で、かかと・つま先歩き、スポーツ鬼ごっこに取り組んでいく。
	○食の大切さや感謝の気持ちを育てる。	給食の完食をめざす。	完食回数 90回	100%	43回 (48%)	110回 (100%)	100%	A	「わくわくファーム」で育てた野菜を取り入れた給食を、ほぼ毎日残さずに食べている。		好き嫌いがある児童については、個別に指導していく。
<u>連携教育</u> ・9年間を見通した小中一貫教育の推進	○自ら家庭学習に取り組む児童を育てる。	「家庭学習ステップアップ週間」を活用する。	※1に同じ	90%	5年生 100%	6年生 100%	100%	A	県との差 国語科+15以上、算数科+8以上 活用力の通過率がアップした。	3学期もしっかり取り組み、さらに力を付けて閉校を迎えたいものである。	家庭学習ステップ・アップ週間での家庭への呼びかけを継続する。
	○マナーや規範意識を育てる。	「佐伯っ子ノート」を活用する。	学校評価アンケート「進んであいさつ」で肯定的評価80%以上	100%	児 92% 保 100%	児 75% 保 100%	児 93% 保 100%	B	保護者意識が上回り、家庭でも挨拶をしていると思われる。		「佐伯っ子ノート」2学期の振り返りを行い、日常の取組をさらに推進していく。

